いつか誰かが殺される（1984）

メディア 映画
ジャンル コメディ　サスペンス
製作国 日本
色彩 Color
時間 97分
初公開日 1984/10/10
公開情報 東映

【解説】
　赤川次郎の同名小説を「ピンクのカーテン」シリーズの高田純が脚色し「十階のモスキート」の崔洋一が監督して映画化。角川三人娘の一人である渡辺典子の主演作品。
　永山財閥の家長である志津は誕生パーティーに、子供たちの名前を組み合わせた「モリヤアツコ」という18歳の女性を招待できるか、賭けをすることにした。女子高生の守屋敦子は久々に父の洋一とデートを楽しんでいたが、ブティックで父親が忽然と姿を消してしまう。バッグに小さなフロッピーディスクを見つけた彼女が帰宅すると、家はめちゃめちゃに荒らされていた。翌日には父の勤務先である新聞社を訪れるが、すでに新聞社はつぶれていた。敦子はクラスメイトの渡壁正太にフロッピーの解読を依頼、ブティック店長らの協力を得て事件の真相を探るのだった。

【クレジット】

監督	崔洋一	
製作	角川春樹	
プロデューサー	紫垣達郎	
	伊藤亮爾	
	黒澤満	
原作	赤川次郎	Akagawa Jiro
脚本	高田純	
撮影	浜田毅	
美術	小川富美夫	
編集	鈴木晄	
音楽	梅林茂	Shigeru Umebayashi
助監督	成田裕介	
出演	渡辺典子	
	古尾谷雅人	
	白竜	
	加藤治子	
	斎藤晴彦	
	石橋蓮司	
	尾美としのり	
	松原千明	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.